

神の化身

——植芝盛平翁を讃う——

五井昌久

其の人は確に神の化身だ
其の人は肉体そのまま宇宙になりきり
自己に対する相手をもたぬ

宇宙と一体の自分に敵はない
其の人は当然のようにそう言い放つ

五尺の小身
八十路に近い肉体

だがその人は宇宙一杯にひろがっている自分をはっきり知っている
如何なる大兵の敵も

どのような多数の相手も
そのまま空になりきっている
其の人を倒す事は出来ない

空はそのまま天御中主
天御中主に融けきったところから

その人は守護神そのままの力を出だす
この人の力はずでにすべての武を超えた
大愛の気のはたらき

鋭い眼光と慈悲のまなざし
その二つのはたらきが一つに調和し
その人の人格となって人々の胸を打つ

その人は正に神の化身
大愛絶対者の御使人

私はその人の偉大さを心に沁みて知っている

詩集『いのり』より